

Kenko



**ケンコー
デジタルカメラ
DSC1200Z**

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC1200Z」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



Kenko

**ケンコー
デジタルカメラ
DSC1200Z
取扱説明書**

このたびはデジタルカメラ「DSC1200Z」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



目次

はじめに	06
安全上のご注意	07
カメラの紹介	10
セット内容	10
各部の名称	11
ご使用の前に	13
電池の装着	13
アルカリ乾電池に関する安全上のご注意	14
SD / SDHCメモリカードを使用する場合	15
SD / SDHCメモリカードを装着する	15
SD / SDHCメモリカードを使用する前に	16
ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない	17
SD / SDHCメモリカードのフォーマット	18
ストラップの装着	20
電源のオン / オフ	21
日付と時刻の設定	22
言語の設定	23
液晶モニタアイコン	24
撮影モード	24
静止画再生モード	25
動画再生モード	26
音声再生モード	27
液晶表示の切替	28
撮影モード	28
再生モード	29
静止画モード	30
静止画の撮影	30
ズーム撮影	31
モードの切替	32
インテリジェント シーンモード	34

フラッシュ撮影	35
フォーカスモード	36
セルフタイマー / 連写撮影	37
笑顔認識機能	38
まばたき検出機能	39
手ブレ軽減機能	40
Avモード	40
Tvモード	41
マニュアル露出	42
AEB撮影	43
静止画機能メニュー	44
マイモード表示	44
静止画サイズ	45
画質	46
露出補正	46
ホワイトバランス	47
ISO感度	48
測光方式	49
色効果	49
静止画撮影メニュー	50
記録モード	50
撮影モード	50
AEB	50
AF領域	51
AFランプ	51
シャープネス	52
彩度	52
コントラスト	53
デジタルズーム	54
日付スタンプ	55
自動表示	55



目次

動画モード 56

動画の撮影	56
動画機能メニュー	57
動画サイズ	58
ホワイトバランス	60
測光方式	60
色効果	60

音声モード 61

音声の録音	61
-------	----

再生モード 62

静止画ファイルの再生	62
再生ズーム	62
動画ファイルの再生	63
動画シーンをプリントする	64
音声ファイルの再生	65
音声メモの付加録音	66
音声メモの再生	67
クイック消去	68
回転	68
サムネイル表示	69
再生メニュー	70
スライドショー	71
画像消去	72
プロテクト	74
赤目補正	77
音声メモ	78
写真編集	78
トリミング	79
サイズ調整	80
起動画面の設定	81
DPOF	82

設定モード 84

設定メニュー	84
操作音	85
自動電源オフ	86
液晶の減光	87
言語	87
日付設定	87
ファイル番号	88
TV放送方式	88
液晶輝度	89
電池の種類	90
メモリキット	91
初期設定	92

プリンターとの接続 93

プリンターとの接続	93
-----------	----

パソコンとの接続 97

パソコンへ接続する	97
転送時のご注意	98
ファイル名について	98

付属アプリケーション 99

付属ソフトのインストール	99
付属CD-ROM内の取扱説明書	103

トラブルシューティング 104

こんなときは	104
--------	-----

記録可能枚数／時間の目安 105

静止画の記録可能枚数	105
動画の記録可能時間	105

仕様 106

製品仕様	106
必要システム	107

保証規定 109



はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC1200Z」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、
あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。



安全上のご注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
 警告	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。
引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの 加工および、火中投入などは行わないでください。
発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。



安全上のご注意 必ずお読みください

警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。
電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。
事故の原因になります。
- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。
お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。



安全上のご注意 必ずお読みください

⚠ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。
集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。
故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。
音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。



カメラの紹介

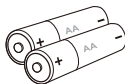
▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

デジタルカメラ本体



単3形充電池(2本)



CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



USB-PC接続ケーブル



ストラップ



クイックスタートガイド



取扱説明書(本書)

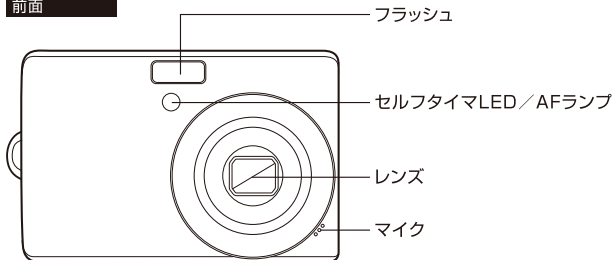




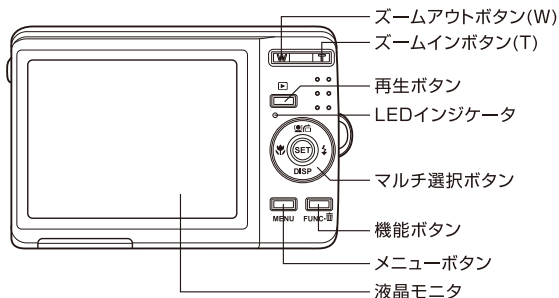
カメラの紹介

各部の名称

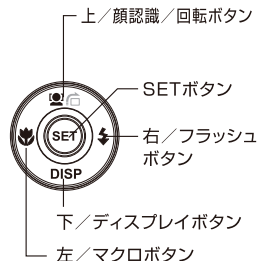
前面



背面



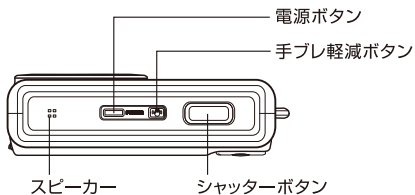
マルチ選択ボタン



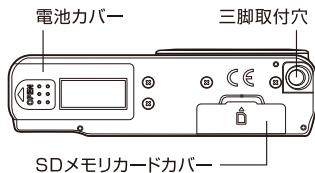


カメラの紹介

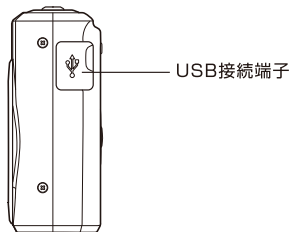
上面



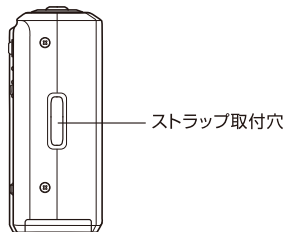
底面



左側面



右側面

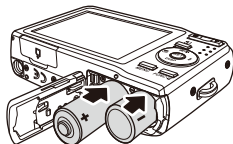




ご使用の前に

▶ 電池の装着

1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池カバーを▷方向にスライドさせて開きます。
3. 電池の+側一側を確認し、単3形アルカリ乾電池2本を正しい方向で装着します。
4. 電池カバーを閉めます。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は+方向に注意し、正しく装着してください。
- P.90「電池の種類」を設定してください。電池残量表示をより正確にします。
- カメラを正しく作動させるために、お使いの電池を正しく選択してください。



- ◆電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。

電池の残量は充分です。

電池の残量は半分程度です。

電池の残量が少なくなっています。予備を準備してください。

- ◆単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池等をご使用ください。
- ◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを使用しないときは電池を取り出してください。
- ◆カメラの操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
- ◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



ご使用の前に

■ アルカリ乾電池に関する安全上のご注意 (対象：アルカリ乾電池使用カメラ)



警告

付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電、(+) (−)の逆方向の装着をしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。



ご使用の前に

SD／SDHCメモ리카ード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の32MB内蔵メモリに記録されます。SDメモ리카ード(別売)をカメラ底面のSDメモ리카ードスロットに装着して撮影・録画すると、撮影・録画した画像は自動的にSDメモ리카ードに記録されます。



- 内蔵メモリのユーザ使用可能領域は10MBです。
- このカメラに使用できるメモ리카ードの仕様は、SDメモ리카ード(32MB～4GB)、SDHCメモ리카ード(4GB～32GBまで)です。その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。
- すべてのSD／SDHCメモ리카ードで動作を保証するものではありません。

SD／SDHCメモ리카ード(別売)を装着する

SDメモ리카ードは、カメラ底面にあるSDメモ리카ードスロットに装着します。

1. カメラの電源をオフにします。
2. SDメモ리카ードカバーを液晶モニタ方向に開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、SDメモ리카ードをSDメモ리카ードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。(SDメモ리카ードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します)
4. SDメモ리카ードカバーを閉めます。



- ◆新しいSDメモ리카ードを使用される際は、あらかじめメモ리카ードのフォーマット(P.18参照)をしてください。
- ◆差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。



- SDメモ리카ードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- データをパソコンに転送している最中に、SDメモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。



ご使用の前に

SD／SDHCメモ리카ードを使用する前に



- ◆新品のSDメモ리카ードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモ리카ードを装着すると、カメラはSDメモ리카ードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.6～9に記載されていますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

●パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモ리카ードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、
撮影中または再生中にSDメモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。
撮影した画像データ、SDメモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

●SDメモ리카ードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモ리카ードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。
フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモ리카ードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、
SDメモ리카ードはロックされ、SDメモ리카ードへの記録／消去が禁止され、保存されてい
る画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。





ご使用の前に

📁 ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

▶ SD／SDHCメモ리카ードのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



SD／SDHCメモ리카ードが装着されていない場合は、内蔵メモリがフォーマットされます。



- SDメモ리카ードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモ리카ードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモ리카ードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)。
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモ리카ードのライトプロテクトスイッチ(P.16参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

●次ページへ続く



ご使用の前に

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、SETボタンを押します。
6. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

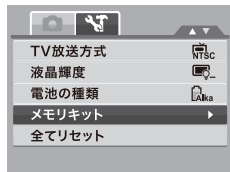
はい : SDメモリカードまたは内蔵メモリのフォーマットを行います。

キャンセル : フォーマットを行いません。

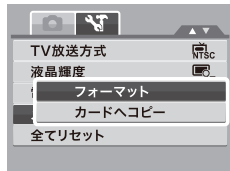


- ◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。
- ◆SDメモリカードが装着されている場合は、SDメモリカードがフォーマットされます。SDメモリカードが装着されていない場合は内蔵メモリがフォーマットされます。
- ◆フォーマットしますと全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。

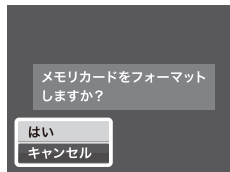
4.



5.



6.

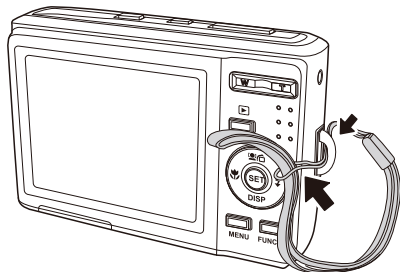




ご使用の前に

ストラップの装着

下図を参考にして、ストラップを取り付けてください。





ご使用の前に

電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと、カメラの電源がオンになります。

再度電源ボタンを押すと、カメラの電源がオフになります。



- ◆電源を入れると、緑色のLEDランプが点灯し、液晶モニタが表示されます。
- ◆一定時間以上カメラを使用しない時間が続くと、自動的にカメラの電源がオフになります。
P.86「自動電源オフ」をご覧ください。
- ◆電源オフの状態でも再生ボタンを長押しすると、電源がオンになり、再生画面が表示されます。



ご使用の前に

2. 日付と時刻の設定

カメラをご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日時」を選択し、SETボタンまたは、右ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 左または右ボタンを押して項目を選択し、上または下ボタンで数値を調整し、右ボタンを押して次の項目(例えば年→月)に移動します。
6. 表示順序を変更する場合は、年／月／日の項目で上または下ボタンを押して調整し、SETボタンを押して決定します。
7. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆日付／時刻は、初期設定に戻してもリセットされません。

◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

2.



3.



4.



5.





ご使用の前に

言語の設定（初期設定：日本語）

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「言語」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 上／下または左／右ボタンを押して使用する言語を選択し、SETボタンを押します。
6. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



- ◆言語は、初期設定に戻してもリセットされません。
- ◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

4.



5.



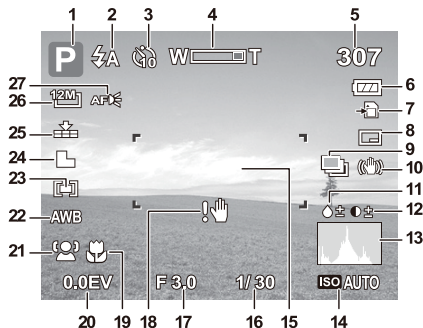
※実際の表示と異なる場合があります。



ご使用の前に

液晶モニタアイコン

撮影モード



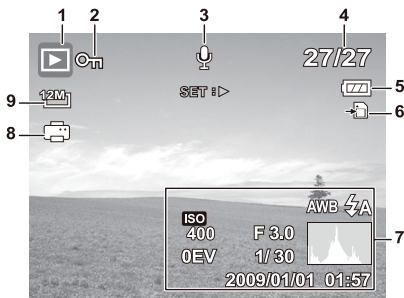
- | | | | |
|------------------|-------------|------------------|--------------|
| 1. モード | 8. 日付印字 | 15. メインフォーカスフレーム | 22. ホワイトバランス |
| 2. フラッシュモード | 9. AEB | 16. シャッタースピード | 23. 測光方式 |
| 3. セルフタイマー／連写モード | 10. 手ブレ軽減機能 | 17. 絞り値 | 24. シャープネス |
| 4. ズームインジケータ | 11. 彩度 | 18. 手ブレ警告 | 25. 画質 |
| 5. 記録可能枚数(目安です) | 12. コントラスト | 19. マクロ(近接)モード | 26. サイズ |
| 6. 電池残量 | 13. ヒストグラム | 20. 露出補正 | 27. AFlamp |
| 7. メモリ | 14. ISO感度 | 21. 顔認識機能 | |

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

▶▶ 静止画再生モード



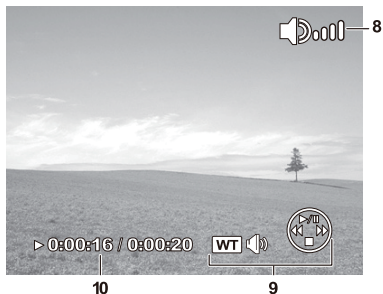
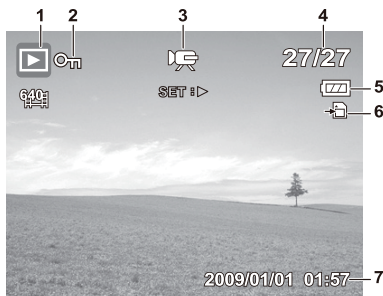
1. モード
2. 保護
3. 音声メモ
4. 現在のファイル／全てのファイル数
5. 電池残量
6. メモリ
7. 撮影情報
8. DPOF
9. サイズ

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

▶▶ 動画再生モード



1. モード
2. 保護
3. 動画ファイル
4. 現在のファイル／全てのファイル数
5. 電池残量
6. メモリ
7. 撮影情報
8. 音量
9. キーインジケータ
10. 再生時間

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

音声再生モード



1. モード
2. 保護
3. 現在のファイル／全てのファイル数
4. 電池残量数
5. メモリ
6. 録音情報
7. 音量
8. キーインジケータ
9. 再生時間

※設定により表示されるアイコンは異なります。



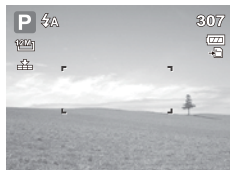
ご使用の前に

液晶表示の切替

撮影モード

撮影モード使用時、液晶モニタの表示を切り替えます。下／ディスプレイボタンを押すごとに液晶表示が切り替わります。
 ※設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶オン



アイコンを全て表示



アイコンを非表示



ガイドライン



◆AEB・顔認識・フラッシュ・撮影モード・マクロモードのアイコンは、「アイコンを非表示」または「ガイドライン」に設定した場合でも表示されます。

◆以下のような場合、液晶表示を切り替えることができません。

- マニュアル露出設定画面を表示中の場合
- 動画撮影中および音声録音中の場合



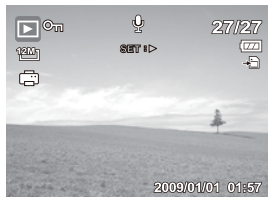
ご使用の前に

再生モード

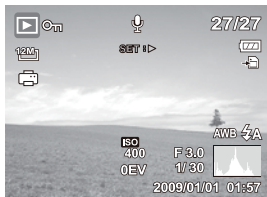
再生モード使用時、液晶モニタの表示を切り替えます。下／ディスプレイボタンを押すごとに液晶表示が切り替わります。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶オン



アイコンを全て表示



アイコンを非表示



◆以下のような場合、液晶表示を切り替えることができません。

- 動画ファイルの再生中および音声ファイルの再生中の場合
- スライドショーを再生中の場合



静止画モード

▶ 静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. 記録モードを選択します。P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
3. 液晶モニタで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかり構えて、シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

4.



- ◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
- ◆半押し状態の時、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント・露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離(P.36参照)で撮影されているかどうかご確認ください。
- ◆被写体周辺の光量が不足している場合、シャッター速度が遅くなり、液晶モニタに手ブレ警告アイコン  が表示されます。カメラをしっかりと構え、手ブレにご注意ください。フラッシュまたは三脚等の使用をおすすめします。



静止画モード

📷 ズーム撮影

カメラには3倍の光学ズームが搭載されています。

更に5倍のデジタルズームと組み合わせ、最大15倍のズーム撮影を行うことができます。

〈光学ズームのみを使用する場合〉

1. ズームボタンを押すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
2. ズームアウトボタンを押すと、光学ズームがズームアウト(縮小)します。

〈光学ズーム+デジタルズームを使用する場合〉

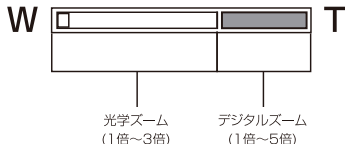
1. P.54「デジタルズーム」をご覧くださいの上、デジタルズーム機能が有効になっていることを確認します。
2. ズームボタンを押すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
光学ズームの倍率が上限の3倍に達すると、ズームが停止します。
3. 一度ズームインボタンから指を離し、再度ズームインボタンを押すと、
デジタルズームがズームイン(拡大)します。
4. ズームアウトボタンを押すと、デジタルズームがズームアウト(縮小)します。
デジタルズーム1倍でズームが停止します。
5. 一度ズームアウトボタンから指を離し、再度ズームアウトボタンを押すと、
光学ズームがズームアウト(縮小)します。



◆デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。

◆動画撮影では、デジタルズームを使用できません。

◆P.54「デジタルズーム」をご覧ください。





静止画モード

モード(シーン)の切替

記録モードおよびシーンを選択します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「記録モード」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上／下／左／右ボタンを押して記録モードおよびシーンを選択し、SETボタンを押して決定します。選択できるモードの詳細は、以下をご覧ください。

3.



AUTO	オート	自動設定で静止画を撮影します。	
P	プログラム	シャッター速度と絞り値を自動で調整します。	
Av	絞り優先	任意の絞り値を調整することができます。	
Tv	シャッター優先	任意のシャッタースピードを調整することができます。	
M	マニュアル露出	任意の絞り値とシャッター速度を調整することができます。	
	インテリジェント	撮影状況に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。	
	シーン	ポートレート	人物（ポートレート）の撮影に適しています。
		風景	距離を無限に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。
		夕日	夕陽の撮影に適しています。深い色味を演出します。
		逆光	逆光撮影での障害を低減します。
		キッズ	かわいい子供などの撮影に適しています。子供の目線で撮影してください。
		夜景	暗い場面での撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
		花火	きれいに花火を撮影します。三脚等の使用をおすすめします。
		雪景色	雪景色の撮影に適しています。



静止画モード

	シーン	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。
		パーティ	室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。
		キャンドルライト	ロウソクの明かりの中で、雰囲気のある写真を撮影することができます。
		夜景ポートレイト	夜間または暗い背景での人物の撮影に適しています。
		肌色	人物の肌色を綺麗に撮影します。
		流水	流水の撮影に適しています。
		食べ物	彩度を高め、食べ物を美味しそうな色に仕上げます。
		建物	緑を強調して撮影します。建物等の撮影に適しています。
		文字	印刷物などを、白黒をはっきりと強調します。
		オークション	博物館等、室内の撮影に適しています。三脚の使用をお勧めします。
		スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると、自動的にシャッターが下ります。P.38をご覧ください。
		まばたき検出	人物が撮影時にまばたきをした際、ファイルの保存またはキャンセルを選択できます。
		多重撮影	この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
		恋人	二人の顔を、2秒以内に検出して撮影します。
		録音	音声を録音します。P.61「音声モード」をご覧ください。
		動画	動画を撮影します。P.56「動画モード」をご覧ください。



静止画モード

インテリジェント シーンモード

撮影状況に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。
ビギナーの方にお勧めです。

1. 「 インテリジェント シーンモード」に設定します。
P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. 液晶モニタで被写体を捉えると、カメラが撮影状況に合わせた最適なシーンモードに切り替えます。
3. シャッターボタンを半押しして露出とピントを合わせ、シャッターボタンを完全に押して撮影します。



	ポートレート (i)	人物の顔が検出された場合に設定されます。
	風景 (i)	人物の顔が検出されない場合、撮影距離が 1.5m 以上の場合等に設定されます。
	夕日 (i)	夕陽のような光が検出された場合に設定されます。
	マクロ (i)	人物の顔が検出されない場合、撮影距離がマクロの場合に設定されます。 モードは、シャッターボタンを半押しした状態で設定されます。
	逆光 (i)	フレーム内の照度差等が検出された場合に設定されます。
	逆光ポートレート (i)	人物の顔が検出された場合、フレーム内の照度差等が検出された場合に設定されます。
	夜景 (i)	人物の顔が検出されない場合、撮影距離が 1.5m 以上の場合、露出不足等が検出された場合に設定されます。
	夜景ポートレート (i)	人物の顔が検出された場合、露出不足等が検出された場合に設定されます。



- ◆顔が検出されると、白いフレームが表示されます。
- ◆液晶モニタを「非表示」または「ガイドライン」に設定している場合は、シャッターボタンを半押しした際に設定中のインテリジェント シーンモード アイコンを確認することができます。
- ◆すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画モード

📷 フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更することができます。

1. 右/フラッシュボタンを押して、フラッシュモードを切り替えます。

	自動	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目低減	暗い場所などでの撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。フラッシュは二度発光します。
	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光などでの撮影時におすすめします。
	スローシンクロ	フラッシュを発光しながら、遅いシャッター速度で撮影します。 手前の人物だけではなく背景もある程度写りますが、手ブレを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。 博物館等フラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。

〈フラッシュの有効範囲〉

約0.8m～2m(Wide)、0.8m～1.2m(Tele)



- ◆フラッシュの充電中は、撮影できません。
- ◆電池残量が少ない場合、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。
- ◆静止画のみの機能です。
- ◆撮影モード等により選択できるフラッシュモードが異なります。また使用できない場合もあります。



静止画モード

フォーカスモード(撮影距離)

フォーカスモードを設定します。

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 左／マクロボタンを押して、フォーカスモードを切り替えます。
ボタンを押す度にフォーカスモードが切り替わります。

1.



フォーカスモードアイコン

表示無し	標準モード	撮影距離は、約 80cm ～ ∞ です。
	マクロ (近接) モード	文字や草花などの小さな被写体にピントを合わせることができます。撮影距離は、約5cm～100cm(W)です。
PF	パンフォーカスモード	この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
INF	インフィニティーモード	遠くの被写体にピントを合わせます。風景の撮影に適しています。



静止画モード

📷 セルフタイマー／連写撮影 (初期設定：オフ)

セルフタイマーの設定および連写撮影の設定をします。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「撮影モード」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

🕒 10秒タイマー : シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影します。

🕒 2秒タイマー : シャッターボタンを押してから、約2秒後に撮影します。

🕒 10秒タイマー(2枚) : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影し、更に2秒後に再度撮影します。

📷 連写 : シャッターボタンを押している間、連写撮影を行います。
シャッターボタンから手を離すと、連写撮影を終了します。

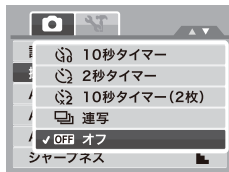
オフ : セルフタイマーおよび連写機能を使用しません。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆セルフタイマーを使用する場合は、カメラを三脚等で固定してください。
- ◆静止画のみの機能です。
- ◆10秒タイマー(2枚)を選択時、2回目の撮影ではフラッシュの光量が不足する場合があります。
- ◆電源をオフにすると設定はオフに戻ります。



静止画モード

▶ 笑顔認識機能(スマイルキャプチャ)

笑顔を認識すると、自動的にシャッターが下ります。

1. 「😊 スマイルキャプチャ」に設定します。P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. カメラを構え、液晶モニターで被写体を捉えます。
3. 顔を認識すると白いフォーカスフレームが表示されます。
4. シャッターボタンを半押しし、撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
5. 笑顔を検出すると自動的にシャッターが下ります。

4.



- ◆人物が二人以上の場合、カメラに最も近い人物の笑顔を検出します。この場合、検出に多少時間がかかる場合があります。
- ◆笑顔には個人差がある為、すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画モード

3. まばたき検出機能 🙄!

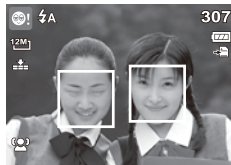
撮影時に人物がまばたきをした際、カメラがまばたきを検出し、ファイルの保存または削除を選択することができます。

1. 「🙄! まばたき検出」に設定します。P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. シャッターボタンを半押しして撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
3. シャッターボタンを押して撮影します。
4. カメラがまばたきを検出した場合は、「保存」または「キャンセル」の選択画面が表示されます。
5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

保存 : カメラに画像を保存します。

キャンセル : 画像を保存しません。

3.



4.



◆すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画モード

手ブレ軽減機能

撮影時の手ブレを最小限に軽減します。

1. 手ブレ軽減ボタンを押し、液晶モニタに手ブレ軽減アイコンが表示されていることを確認します。ボタンを押す度に、「オン」または「オフ」が切り替わります。



- ◆手ブレ軽減機能をご使用の場合、ISO感度は自動的に「オート」になります。
- ◆ノイズが発生する場合があります。

Av(絞り優先)モード

任意の絞り値をセットすると、適正露出に合わせたシャッター速度が自動的に設定されます。絞り値を小さく(開ける)すると、ピントの合う範囲が狭くなり、遠近感が強調されます。絞り値を大きく(絞る)すると、ピントの合う範囲が広くなり、全体にピントが合った写真を撮ることができます。

1. 「**Av** 絞り優先」に設定します。P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. SETボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して絞り値を選択し、SETボタンを押します。
選択できる絞り値は以下の通りです。

- ☐ F3.0
- ☐ F4.3

2.



- ◆絞り値を大きくする(絞る)ほど、多くの光量を必要とします。屋外での撮影に適しています。光量が少ない状況下では、絞り値を小さくする(開ける)ことをお勧めします。



静止画モード

2. Tv(シャッター優先)モード

任意のシャッタースピードをセットすると、適正露出に合わせた絞り値が自動的に設定されます。シャッタースピードを速くすると、動いている被写体もブレずに撮影することができます。シャッタースピードを遅くすると、動きを強調した表現を楽しむことができます。

1. 「**Tv** シャッター優先」に設定します。
P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. SETボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押してシャッタースピードを選択し、SETボタンを押します。
選択できるシャッタースピードは以下の通りです。

☐ 15秒	☐ 1.6秒	☐ 1/6秒	☐ 1/60秒	☐ 1/640秒
☐ 13秒	☐ 1.3秒	☐ 1/8秒	☐ 1/80秒	☐ 1/800秒
☐ 10秒	☐ 1秒	☐ 1/10秒	☐ 1/100秒	☐ 1/1000秒
☐ 8秒	☐ 0.8秒	☐ 1/13秒	☐ 1/125秒	☐ 1/1250秒
☐ 6秒	☐ 0.6秒	☐ 1/15秒	☐ 1/160秒	☐ 1/1600秒
☐ 5秒	☐ 0.5秒	☐ 1/20秒	☐ 1/200秒	☐ 1/2000秒
☐ 4秒	☐ 0.4秒	☐ 1/25秒	☐ 1/250秒	
☐ 3.2秒	☐ 0.3秒	☐ 1/30秒	☐ 1/320秒	
☐ 2.5秒	☐ 1/4秒	☐ 1/40秒	☐ 1/400秒	
☐ 2秒	☐ 1/5秒	☐ 1/50秒	☐ 1/500秒	

2.



◆設定により光量が不足あるいはオーバー(過剰)になる場合があります。



静止画モード

マニュアル露出

任意の絞り値とシャッタースピードを設定することができます。
意図的に露出を設定したい場合に便利です。

1. 「**M** マニュアル露出」に設定します。
P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
2. SETボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押してシャッタースピードを選択し、
上または下ボタンを押して絞り値を選択し、SETボタンを押します。

2.



- ◆シャッターボタンを半押しすると、適正露出との露出差が赤字で表示されます。－側の数値の場合は適正露出より暗く、＋側の数値の場合は適正露出より明るい設定を表します。



静止画モード

▶ AEB(オートブラケットティング)撮影 (初期設定：オフ)

自動的に露出をずらして、3コマ(適正露出／アンダー露出／オーバー露出)の静止画を撮影します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「AEB」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オン：AEB機能を有効にします。

オフ：AEB機能を無効にします。

4. メニューボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

2.



3.



◆この機能を選択する場合は、**Pモード**に設定(P.32)してください。

◆この機能は一回の撮影に適用されます。



静止画モード

2. 静止画機能メニュー

静止画モードの様々な機能を設定します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 機能ボタンを押し、静止画機能メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、左または右ボタンを押して設定します。



◆静止画機能メニューは、設定中の記録モードにより、利用可能なメニューが異なります。液晶モニタ左側のメニューバーでは、利用可能なメニューが表示されます。

◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

2.



3. マイモード表示

最後に利用した6種類の「記録モード」を自動的に新しい順に表示し、使用頻度の高いモードに素早く切り替えることができます。



※表示は記録モード等の設定状況により替わります。



静止画モード

📷 静止画サイズ (初期設定：12M)

撮影する静止画サイズを設定します。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「静止画サイズ」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

12M：約1200万画素

3:2：約1000万画素(縦横比 3:2) ※一般的な縦横比とは異なります。

8M：約800万画素

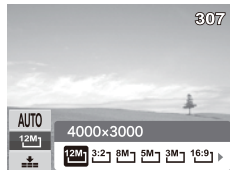
5M：約500万画素

3M：約300万画素

16:9：約200万画素(縦横比 16:9) ※一般的な縦横比とは異なります。

VGA：約30万画素

2.



◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

◆VGAサイズは、e-mail等の添付に適しています。



静止画モード

画質 (初期設定：ファイン)

撮影する静止画の画質(圧縮率)を設定します。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「画質」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

-  **スーパーファイン**：超高画質
-  **ファイン**：高画質
-  **標準**：標準画質

2.



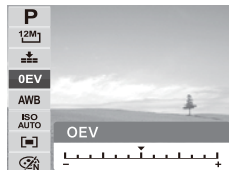
- ◆高画質なほど鮮明ですがデータ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

露出補正 (初期設定：0EV)

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く濡れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合には-(暗く)補正します。露出値は、-2.0～+2.0(0.3EVステップ)の間で調整することができます。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「露出補正」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して補正値を選択し、SETボタンを押します。

2.



- ◆記録モードを **P** モード等に設定してください。



静止画モード

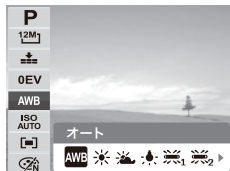
📷 ホワイトバランス (初期設定：オート)

オートでの色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、肉眼の色調に近づけます。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「ホワイトバランス」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- AWB オート** : 自動で調整します。
- ☀️ 晴天** : 屋外の晴天時での撮影に適しています。
- ☁️ 曇り** : 屋外の曇天時での撮影に適しています。
- 💡 白熱灯** : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。
- 💡₁ 蛍光灯H** : 室内の蛍光灯下(赤色系)での撮影に適しています。
- 💡₂ 蛍光灯L** : 室内の蛍光灯下(青色系)での撮影に適しています。
- 📷 カスタム** : この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。

2.



◆記録モードを **P** モード等に設定してください。



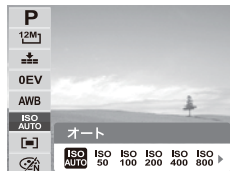
静止画モード

ISO感度 (初期設定：オート)

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、ISO感度選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

2.



- オート : 感度を自動で調整します。
- ISO 50 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。
- ISO 100 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。
- ISO 200 : 屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。
- ISO 400 : 屋外の曇天時、または光量が少ない室内でフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。
- ISO 800 : 光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
- ISO 1600 : 光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
- ISO 3200 ※1 : 極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
- ISO 6400 ※2 : 極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

※1・・・ 静止画サイズが「3M」・「16:9」・「VGA」の選択時のみ利用可能です。

※2・・・ 静止画サイズが「16:9」・「VGA」の選択時のみ利用可能です。



- ◆記録モードを **Av**、**Tv** または **M** モードに設定してください。
- ◆上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。
- ◆手ブレ軽減機能を「オン」に設定している場合(P.40参照)、ISO感度は自動的に「オート」に設定されます。任意のISO感度を設定する場合は、手ブレ軽減機能を「オフ」に設定してください。



静止画モード

測光方式 (初期設定：マルチ)

露出の計測方法を設定します。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「測光方式」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- ☐ **マルチ** : 全体的に測光します。
- ◎ **中央部重点** : 中央部周辺を重点的に測光します。
- **スポット** : 被写体の中央部を部分的に測光します。

2.



色効果 (初期設定：標準)

色効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1. 静止画機能メニューを表示します。(P.44「静止画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して、「色効果」選択画面を選択します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- 📷 **標準** : 効果を加えません。
- 📷 **鮮明** : 色味をはっきりと強調します。
- 📷 **セピア** : セピア画像にします。
- 📷 **モノクロ** : 白黒画像にします。
- 📷 **赤** : 赤色のフィルタのような効果を加えます。
- 📷 **緑** : 緑色のフィルタのような効果を加えます。
- 📷 **青** : 青色のフィルタのような効果を加えます。

2.





静止画モード

▶ 静止画撮影メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押してサブメニューを選択します。



◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

2.



▶ 記録モード

P.32「モード(シーン)の変更」をご覧ください。

▶ 撮影モード

P.37「セルフタイマー／連写撮影」をご覧ください。

▶ AEB

P.43「AEB撮影」をご覧ください。



静止画モード

AF領域 (初期設定：ワイド)

オートフォーカスの領域を設定します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「AF領域」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

ワイド : 広いフレームの範囲内でピントを合わせます。

中央部重点 : 中央部を中心にピントを合わせます。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



AFランプ (初期設定：オート)

AFランプの「オート(発光)」および「オフ」を切り替えます。「オート」に設定すると、必要に応じて赤色のAFランプが自動的に発光し、暗い状況下においてのピント合わせの精度を高めます。

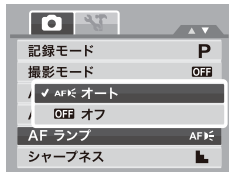
1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「AFランプ」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オート : 必要に応じてAFランプが自動的に発光します。

OFF オフ : AFランプは発光しません。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.





静止画モード

シャープネス (初期設定：標準)

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シャープネス」を選択し、右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンまたはSETボタンを押して決定します。

- 高 : シャープな静止画に仕上がります。
- 標準 : 効果を加えません。
- 低 : ソフトな静止画に仕上がります。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



彩度 (初期設定：標準)

撮影する静止画の彩度(色の鮮やかさ)を設定します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「彩度」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- ◆ + 高 : 彩度を高めた静止画に仕上がります。
- ◆ ± 標準 : 効果を加えません。
- ◆ - 低 : 彩度を抑えた静止画に仕上がります。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.





静止画モード

☞ コントラスト (初期設定：標準)

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「コントラスト」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- + 高 : コントラストを高めた静止画に仕上がります。
- ± 標準 : 効果を加えません。
- 低 : コントラストを抑えた静止画に仕上がります。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.





静止画モード

🔍 デジタルズーム (初期設定：インテレクトズーム)

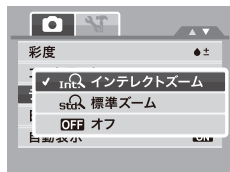
デジタルズーム機能の設定を行います。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「デジタルズーム」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- INTEL インテレクトズーム** : ゆがみを抑えてズームイン拡大します。
- STD 標準ズーム** : 再生時、最大5倍までのズームイン拡大が可能です。
- OFF オフ** : デジタルズーム機能を無効にします。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



- ◆ デジタルズームのご使用方法は、P.31「ズーム撮影」をご覧ください。
- ◆ デジタルズームは、スマイルキャブチャおよび動画モード・音声モードでは使用できません。
- ◆ インテレクトズームの最大倍率は、静止画サイズと画質によって異なります。



静止画モード

📷 日付スタンプ(日付プリント) (初期設定：オフ)

撮影する静止画に日付をプリントすることができます。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「日付スタンプ」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- 日付のみ** : 日付のみプリントします。
- 日付&時刻** : 日付と時刻をプリントします。
- OFF オフ** : 日付プリントをしません。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



◆静止画のみの機能です。

- ◆日付スタンプ設定時は、AEBおよび連写が多少遅くなる可能性があります。
- ◆日付スタンプ設定時は、デジタルズーム機能は自動的に「オフ」になります。
- ◆日付をプリントした静止画を回転した場合、日付も回転されます。

📷 自動表示 (初期設定：オン)

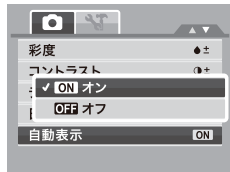
静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

1. メニューボタンを押し、静止画撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「自動表示」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- ON オン** : 自動表示機能を有効にします。
- OFF オフ** : 自動表示機能を無効にします。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.





動画モード

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、メニュー画面を表示します。
3. 上または下ボタンを押し、「記録モード」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押します。
4. 上／下 または 左／右ボタンを押し、「動画」を選択し、SETボタンを押します。
5. 液晶モニタで被写体を捉え、構図を決めます。必要に応じてズームしてください。
6. シャッターボタンを押して、撮影を開始します。必要に応じてズームしてください。
7. 上ボタンを押すと、撮影を一時停止します。
再度上ボタンを押すと、撮影を再開します。
8. 再度シャッターボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



4.



◆ 1 ファイルの最大撮影制限 (2GB) に達した場合、シャッターボタンを押すと撮影を再開します。

◆ メモリ残量がなくなると、カメラは自動的に撮影を終了します。

◆ 動画撮影では、デジタルズームを使用できません。

◆ ズーム中は、音声は記録されません。

◆ 動画撮影中および一時停止中は、自動電源オフ機能(省電力)は作動しません。



動画モード

▶ 動画機能メニュー

動画モードの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 「 動画モード」に設定します。
P.32「モード(シーン)の切替」をご覧ください。
3. 機能ボタンを押し、動画機能メニューを表示します。



◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

2.





動画モード

▶ 動画サイズ (初期設定：640×480)

撮影する動画サイズを設定します。

1. 動画機能メニューを表示します。(P.57「動画機能メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して動画サイズ選択画面を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

: 720 × 400 (HDTV)

: 640 × 480 (高品質)

: 320 × 240 (標準)

: 640 × 480 (インターネット用:YouTubeモード)

2.



◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。



動画モード

〈YouTubeモードについて〉

ファイルをインターネットサイト「YouTube」へ容易にアップロードできるように設定されています。

- YouTubeモードでは、動画サイズが640X480に設定されます。
- ファイルサイズが100MBに達した場合、撮影が自動的に停止します。
- YouTubeモードで撮影された動画ファイルは、ファイル名に「_UTUBE」が付きます。
- YouTubeモードの撮影可能時間は、最大10分です。



●YouTubeへのアップロードは、サポート外となります。あらかじめご了承ください。



動画モード

▶ ホワイトバランス

P.47「ホワイトバランス」をご覧の上、2.から操作を始めてください。

▶ 測光方式

P.49「測光方式」をご覧の上、2.から操作を始めてください。

▶ 色効果

P.49「色効果」をご覧の上、2.から操作を始めてください。



音声モード

▶ 音声の録音

テープレコーダーのように、音声を録音することができます。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、メニュー画面を表示します。
3. 上または下ボタンを押し、「記録モード」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押します。
4. 上／下または左／右ボタンを押し、「録画 」を選択し、SETボタンを押します。
5. シャッターボタンを押して、録音を開始します。
6. 再度シャッターボタンを押すと、録音を終了します。



◆メモリ残量が無くなると、カメラは自動的に録音を終了します。



再生モード

▶ 静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい静止画ファイルを選択します。

3.

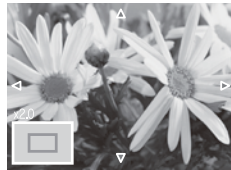


⏮ 再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームインボタン(T)を押すと拡大表示、ズームアウトボタン(W)を押すと縮小表示します。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。

3.



◆静止画ファイルのみの機能です。

◆最大12倍まで拡大表示できます。



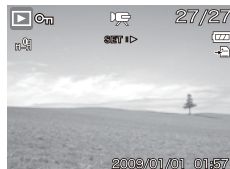
再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
4. SETボタンを押して、動画ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。また、一時停止中に左ボタンを押すとコマの巻き戻し、右ボタンを押すとコマの送りを行うことができます。
6. 再生中、左ボタンを押すと4倍速の巻き戻し、右ボタンを押すと4倍速の早送りを行うことができます。
7. 再生中、ズームインボタン(T)・ズームアウトボタン(W)を押して、音量を調節することができます。
8. 下ボタンを押して、再生を終了します。

3.



4.



◆一時停止中・早送り／巻き戻し中は、音量を調節することができません。



再生モード

▶ 動画シーンをプリントする

撮影した動画ファイルの一部を静止画としてプリントアウトすることができます。

1. 動画ファイルを再生します。P.63「動画ファイルの再生」をご覧ください。
2. 動画を再生し、プリントしたいシーンで上ボタンを押し、一時停止します。
3. 左または右ボタンでコマ送りして最適なショットを選択します。
4. シャッターボタンを押すと、静止画として保存されます。



◆メモリ残量が無い場合またはフォルダが作成できない場合、スクリーンショットは作成できません。その場合、液晶モニタに  アイコンが表示されません。

◆作成される静止画サイズは、動画サイズと同じです。

3.





再生モード

音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい音声ファイルを選択します。
4. SETボタンを押して、音声ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームインボタン(T)・ズームアウトボタン(W)を押して、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押して、再生を終了します。

3.



◆一時停止中・早送り／巻き戻し中は、音量を調節することができません。



再生モード

音声メモ(ボイスメモ)の付加録音

撮影した静止画に音声メモを加えることができます。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。
4. メニューボタンを押して、再生メニューを表示します。
5. 上または下ボタンを押して「ボイスメモ」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押します。
6. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

スタート : 音声メモの付加録音を開始します。

キャンセル : 音声メモを付加しません。

7. 録音が始まります。
8. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

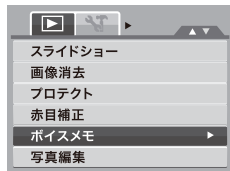
ストップ : 音声メモの付加録音を停止します。

キャンセル : 音声メモを付加をつづけます。



- ◆ 30秒間録音できます。
- ◆ 音声メモのみの削除はできません。

3.



6.



8.





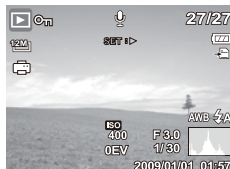
再生モード

音声メモの再生

静止画に付加録音された音声メモを再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、音声メモが付加された静止画ファイルを選択します。
4. SETボタンを押して、音声メモを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームインボタン(T)・ズームアウトボタン(W)を押して、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押して、再生を終了します。

4.



◆一時停止中は、音量を調節することができません。



再生モード

クイック消去

液晶モニタに表示中のファイルを消去します。

1. 消去するファイルを表示します。
2. 機能ボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

消去 : 液晶モニタに表示中のファイルを消去します。

キャンセル : 消去しません。

3.



- ◆消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
- ◆再生メニューからファイルを消去する方法もあります。
P.72「画像消去」をご覧ください。
- ◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

回転

液晶モニタに表示中のファイルを回転します。

1. 回転するファイルを表示します。
2. 上ボタンを押します。ボタンを押すごとに、90°ずつ回転します。



- ◆静止画のみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. ズームアウトボタン(W)を押すと、サムネイル表示に切り替えることができます。
4. 上／下または左／右ボタンを押し、ファイルの選択(黄枠)を移動します。
5. SETボタンを押すと一画面表示に戻ります。





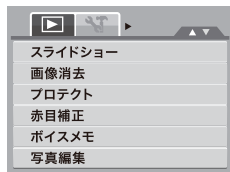
再生モード

再生メニュー

再生モードの様々な設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。
4. メニューボタンを押して、再生メニューを表示します。
5. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

4.



◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。



再生モード

スライドショー

メモリに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「スライドショー」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記の項目を左または右ボタンを押して設定します。

間隔（初期設定：3秒）：スライドショーの表示間隔を設定します。
「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」のいずれかを選択します。

遷移（初期設定：水平）：スライドショーの表示切替を設定します。
「水平」「圧縮」「フェード」「垂直」「ランダム」のいずれかを選択します。

繰り返し（初期設定：はい）：スライドショーの繰り返しを設定します。
はい：繰り返し表示します。
いいえ：ファイルを一順すると終了します。

4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

スタート：スライドショーを開始します。

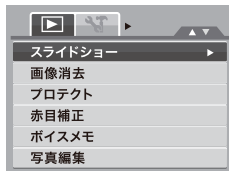
キャンセル：スライドショーを開始しません。

5. 終了する場合は、SETボタンを押し、上または下ボタンを押して「終了」を選択してSETボタンを押します。

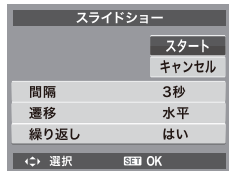


- ◆動画は表示しません。
- ◆電源をオフにするとスライドショーの設定もオフ（通常再生）になります。

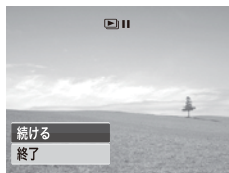
2.



3.



6.





再生モード

画像消去

不要なファイルを消去します。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「画像消去」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- 一枚** : 選択したファイルを消去します。
- 音声のみ** : この機能は使用できません。
- マルチ** : 同時に複数のファイルを消去します。
- 全て** : 全てのファイルを消去します。

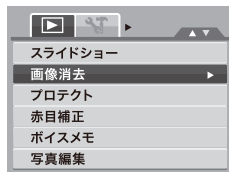
〈「一枚」を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンを押して、消去するファイルを選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

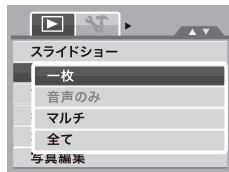
- 消去** : 表示中のファイルを消去します。
- キャンセル** : 表示中のファイルを消去しません。

●次ページへ続く

2.



3.



A-2.





再生モード

●P.72からの続き

〈「マルチ」を選択した場合〉

B-1. 上／下または左／右ボタンを押して消去するファイルを選択(黄色の枠を移動)し、SETボタンを押します。消去するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。

B-2. メニューボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい：選択されたファイルを消去します。 **キャンセル**：前の画面に戻ります。

〈「全て」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい：すべてのファイルを消去します。 **キャンセル**：前の画面に戻ります。

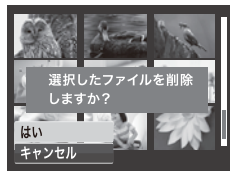


- ◆消去したファイルは、元に戻りませんのでご注意ください。
- ◆保護されたファイルは、消去されません。
- ◆クイック消去を使用し、ファイルを素早く消去する方法もあります。
P.68「クイック消去」をご覧ください。
- ◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

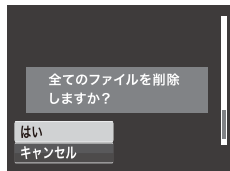
B-1.



B-3.



C-1.





再生モード

🔒 プロテクト(保護)

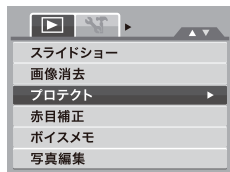
撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護をします。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「プロテクト」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

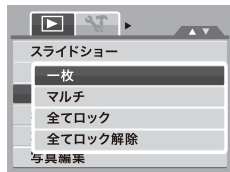
- 一枚** : 選択したファイルを保護します。
マルチ : 同時に複数のファイルを保護します。
全てロック : 全てのファイルを保護します。
全てロック解除 : 全てのファイルを保護解除します。

●次ページへ続く

2.



3.





再生モード

●P.74からの続き

〈「一枚」を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押して、保護するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

ロック：表示中のファイルを保護します。 **終了**：前の画面に戻ります。

A-3. 保護したファイルの保護(ロック)を解除する場合は、解除するファイルを左または右ボタンを押して選択します。

上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

ロック削除：保護設定を解除します。 **終了**：保護を解除しません。

〈「マルチ」を選択した場合〉

B-1. 上／下または左／右ボタンを押して保護するファイルを選択し、SETボタンを押します。保護するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。

B-2. メニューボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい：選択されたファイルを保護します。 **キャンセル**：前の画面に戻ります。

A-2.



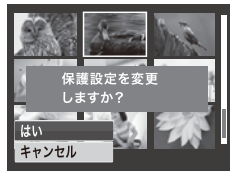
A-3.



B-1.



B-3.





再生モード

●P.75からの続き

〈「全てロック」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい：すべてのファイルを保護します。 **キャンセル**：前の画面に戻ります。

〈「全てロック解除」を選択した場合〉

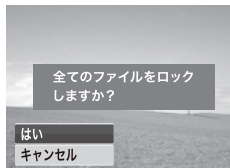
D-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい：すべてのファイルを保護解除します。 **キャンセル**：前の画面に戻ります。

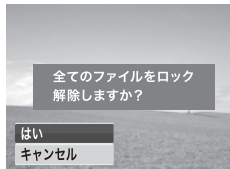


◆保護されたファイルには、ロックアイコン  が表示されます。

C-1.



D-1.





再生モード

赤目補正

撮影した静止画の赤目を補正することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「赤目補正」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

スタート : 赤目を補正します。

キャンセル : 赤目を補正しません。

〈「スタート」を選択した場合〉

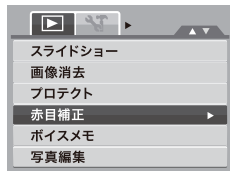
4. 下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

上書き : 元のファイルに上書きして保存します。

名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。

キャンセル : 保存しません。

2.



3.



4.





再生モード

音声メモ

P.66「音声メモ(ボイスメモ)の付加録音」をご覧ください。

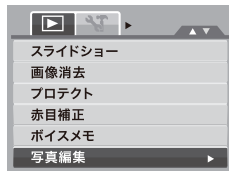
写真編集 (初期設定：標準)

撮影した静止画を編集(色効果等を加える)します。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「写真編集」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- 標準** : 効果を加えません。
- セピア** : セピア画像にします。
- モノクロ** : 白黒画像にします。
- ネガ** : ネガフィルムのような効果を加えます。
- モザイク** : モザイクのような効果を加えます。
- 赤** : 赤色のフィルタを装着したような効果を加えます。
- 緑** : 緑色のフィルタを装着したような効果を加えます。
- 青** : 青色のフィルタを装着したような効果を加えます。

2.



3.



◆編集された写真は別ファイルとして保存されます。



再生モード

トリミング

静止画ファイルをトリミングすることができます。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「トリミング」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームインボタン(T)またはズームアウトボタン(W)を押して拡大率を決定し、左／右または上／下ボタンを押して範囲を移動し、SETボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、SETボタンを押します。

上書き保存 : 元のファイルに上書きして保存します。

名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。

キャンセル : 保存しません。



◆3:2、16:9、VGAサイズのファイルはトリミングできません。

2.



3.



4.



※設定により表示は異なります。



再生モード

📷 サイズ調整

撮影した静止画のサイズを変更することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「サイズ変更」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

8M : 8Mに変更します。

5M : 5Mに変更します。

3M : 3Mに変更します。

VGA : VGAに変更します。

4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

上書き保存 : 元のファイルに上書きして保存します。

名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。

キャンセル : 保存しません。



- ◆3:2、16:9、VGAサイズのファイルはサイズを調整できません。
- ◆VGAサイズは、e-mailの添付に適したサイズになります。
- ◆サイズを小さくします。大きくすることはできません。

2.



2.



4.





再生モード

▶▶ 起動画面の設定(起動画像) (初期設定：システム)

起動画面に表示する静止画を設定することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「起動画像」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、SETボタンを押します。

システム：初期設定の画像を起動画面に設定します。

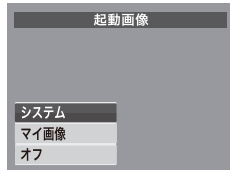
マイ画像：表示中のファイルを起動画面に設定します。
左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。

オフ：起動画面を設定しません。

2.



4.



- ◆ 起動画面に設定中のファイルを消去した場合でも、表示されるファイルは変更されません。



再生モード

DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンタを使い、SDメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 再生メニューを表示します。P.70「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「DPOF」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- 一枚** : 選択したファイルをDPOF設定します。
- 全て** : 全てのファイルをDPOF設定します。
- リセット** : DPOF設定を解除します。

〈「一枚」を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンを押して、DPOF設定を行うファイルを選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押して、プリント枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。
- A-3. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。
ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。
「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、
「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
SETボタンを押して決定します。📅アイコンが表示されます。
- A-4. 他のファイルもプリント指定する場合は、A-1～A-3の操作を繰り返します。

●次ページへ続く

2.



3.



A-3.





再生モード

●P.82からの続き

〈「全て」を選択した場合〉

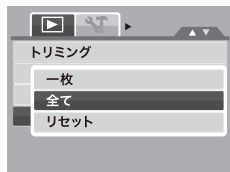
- B-1. 上または下ボタンを押して、枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。
- B-2. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
- B-3. SETボタンを押して決定します。📄アイコンが表示されます。

〈「リセット」を選択した場合〉

- C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- はい : DPOF設定を解除します。
- キャンセル : DPOF設定を解除しません。
メニュー画面に戻ります。

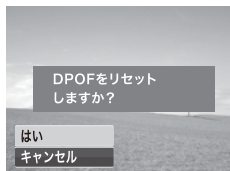
3.



A-3.



D-1.





設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「 設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押し、各項目を選択します。



◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。

2.



3.





設定モード

操作音

カメラの操作音に関する操作音を設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「操作音」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し
左または右ボタンを押して設定します。

起動音 : 起動時の音をサウンド1、サウンド2、サウンド3から選択します。

シャッター音 : オン・オフを選択します。

操作音 : ビープ音のオン・オフを選択します。

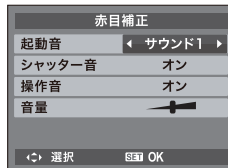
音量 : 左または右ボタンを押し音量を調整します。

4. SETボタンを押し、決定します。
設定メニュー画面に戻ります。
5. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。

3.



4.





設定モード

自動電源オフ(省電力) (初期設定：1分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「省電力」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

1分：1分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

3分：3分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

5分：5分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

オフ：自動電源オフ機能を無効にします。

4. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。

2.



3.



◆以下のような場合、自動電源オフは作動しません。

- 動画を撮影中または音声録音中の場合
- スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合
- USB-PC接続ケーブルを使用中の場合



設定モード

液晶の減光 (初期設定：オン)

20秒間以上カメラを操作しない時間が続くと、電力節約のため液晶モニタの明るさが自動的に減光します。元の明るさに戻す場合は、いずれかのボタンを押します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「液晶の減光」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

ON オン：液晶の減光機能を有効にします。

OFF オフ：液晶の減光機能を無効にします。

4. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。



- ◆以下のような場合、液晶減光機能は作動しません。
 - スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合

2.



3.



言語

P.23「言語の設定」をご覧ください。

日付設定

P.22「日付と時刻の設定」をご覧ください。



設定モード

📁 ファイル番号 (初期設定：続き)

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「ファイル番号」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

続き : フォルダが変更されても、ファイル番号を連続で割り当てます。

リセット : フォルダが変更されるたびに、ファイル番号は0001から始まります。

4. メニューボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

2.



2.



◆フォーマットするとフォルダが変更されます。

📺 TV放送方式

本機はTV接続に対応しておりません。あらかじめご了承ください。



設定モード

液晶輝度 (初期設定：標準)

液晶モニタの明るさを設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「液晶輝度」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

高輝度：明るめに表示します。

標準：標準的な輝度で表示します。

4. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。



◆高輝度に設定すると屋外でも見やすくなりますが、電池の消耗が早くなります。

2.



3.





設定モード

電池の種類 (初期設定：アルカリ)

使用中の電池の種類を設定し、液晶モニタ上での電池残量を正しく表示します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「電池の種類」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

- アルカリ** : アルカリ乾電池を使用中の場合に選択します。
Ni-MH : ニッケル水素充電電池を使用中の場合に選択します。
リチウム : リチウムイオン乾電池を使用中の場合に選択します。
オキシライド : オキシライド乾電池を使用中の場合に選択します。

4. メニューボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

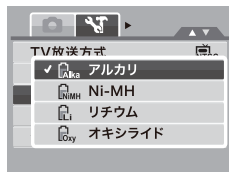


- カメラを正しく作動させるために、お使いの電池を正しく選択してください。
- 電池の種類は、リセットしても初期設定には戻りません。

2.



3.





設定モード

☒ メモリキット (初期設定：フォーマット)

メモ리카ード内のファイルを管理します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

フォーマット : メモリをフォーマット(初期化)します。
フォーマットP.18をご覧ください。

カードヘコピー : 内蔵メモリのファイルを、SDメモ리카ードにコピーします。

〈「カードヘコピー」を選択した場合〉

内蔵メモリのファイルをSD／SDHCメモ리카ードにコピーします。

- A-1. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択して、SETボタンまたは右ボタンを押します。

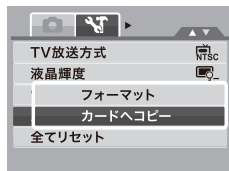
はい : 内蔵メモリの全てのファイルをメモ리카ードにコピーします。
キャンセル : メモ리카ードにコピーしません。

4. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。

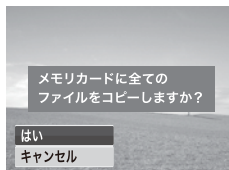
2.



3.



A-1.



- ◆SDメモ리카ードスロットにSDメモ리카ードが挿入されていない場合、「カードヘコピー」は使用できません。



設定モード

初期設定(全てリセット)

カメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 設定メニューを表示します。P.84「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「全てリセット」を選択し、SETボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

はい : 工場出荷時の設定に戻します。

キャンセル : 工場出荷時の設定に戻しません。

4. メニューボタンを押すと、設定メニューを終了します。

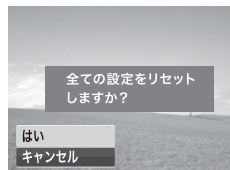


◆日付と時刻・言語・電池の種類は、初期設定に戻してもリセットされません。

2.



3.



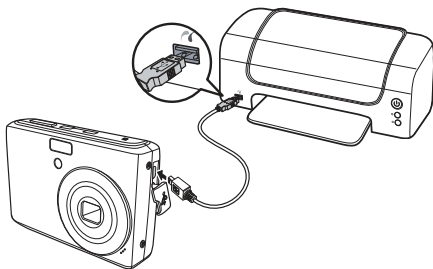


プリンターとの接続

■ プリンターとの接続

パソコンを経由せずに、撮影した静止画をご家庭のプリンターでプリントすることができます。

カメラがダイレクトプリント対応プリンターに接続されていない場合、液晶モニタにエラーメッセージが表示される場合があります。

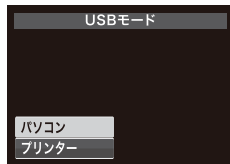


1. カメラとプリンターの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルのミニ端子(小さい方)をカメラに、USB端子(大きい方)をプリンターに接続します。
3. 「USBモード」が表示されます。
上または下ボタン押し、「プリンター」を選択してSETボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

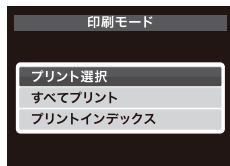
プリント選択 : 画像を選択してプリントします。
すべてプリント : すべての静止画をプリントします。
プリントインデックス : 索引プリントします。

●次ページへ続く

3.



4.





プリンターとの接続

●P.93からの続き

＜「プリント選択」を選択した場合＞

A-1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択し、上または下ボタンを押してプリント枚数を設定し、SETボタンを押します。機能ボタンを押して日付プリントのオン・オフを設定します。設定後、SETボタンを押します。

A-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値
 4"×6" : 4インチ×6インチサイズ
 A4 : A4サイズ

A-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値
 ファイン : 高画質
 標準 : 標準画質

A-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、SETボタンを押します。

プリント : プリントを開始します。
 キャンセル : プリントをしません。

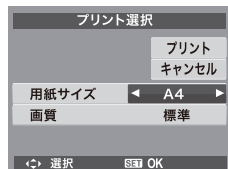
プリント中は「印刷中」と表示されます。
 「印刷中」と表示中にメニューボタンを押すとプリントを中止します。
 他の画像もプリントする場合は、A-1.～A-4.を繰り返します。

●次ページへ続く

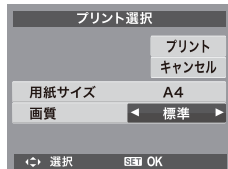
A-1.



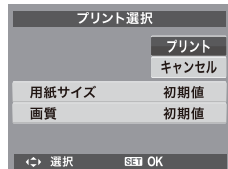
A-2.



A-3.



A-4.





プリンターとの接続

●P.94からの続き

＜「すべてプリント」を選択した場合＞

B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定し、SETボタンを押します。

機能ボタンを押して、
日付プリントのオン・オフを設定します。
設定後、SETボタンを押します。

B-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値

4"×6" : 4インチ×6インチサイズ

A4 : A4サイズ

B-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値

ファイン : 高画質

標準 : 標準画質

B-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、SETボタンを押します。

プリント : すべての静止画をプリントします。

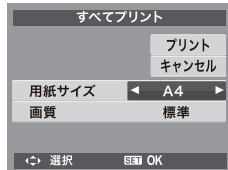
キャンセル : プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。

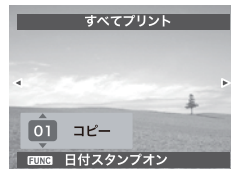
「印刷中」と表示中に機能ボタンを押すとプリントを中止します。



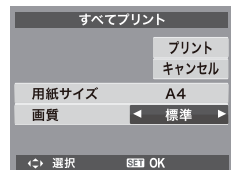
B-2.



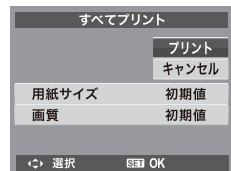
B-1.



B-3.



B-4.





プリンターとの接続

●P.95からの続き

〈「プリントインデックス」を選択した場合〉

C-1. 左または右ボタンを押してプリント枚数を選択し、SETボタンを押します。
索引プリントでは、日付プリントはできません。
設定後、SETボタンを押します。

C-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値

4"×6" : 4インチ×6インチサイズ

A4 : A4サイズ

C-3. 上または下ボタンを押して「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値 : プリンターの初期設定値

ファイン : 高画質

標準 : 標準画質

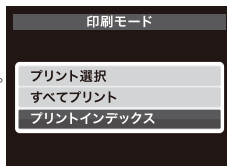
C-4. 上または下ボタンを押して「プリント」または「キャンセル」を選択し、SETボタンを押します。

プリント : 索引プリントします。

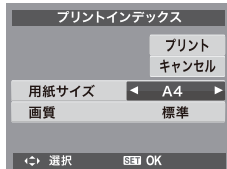
キャンセル : 索引プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。

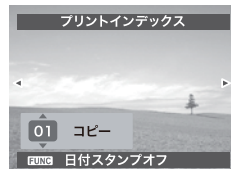
「印刷中」と表示中に機能ボタンを押すとプリントを中止します。



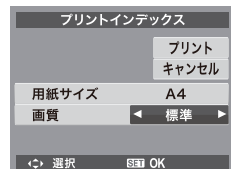
C-2.



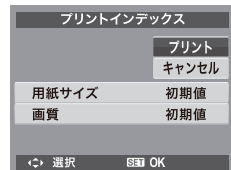
C-1.



C-3.



C-4.



◆選択されている項目は、青色のバーに白文字で表示されます。



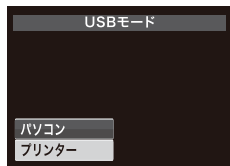
パソコンとの接続

パソコンへ接続する

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

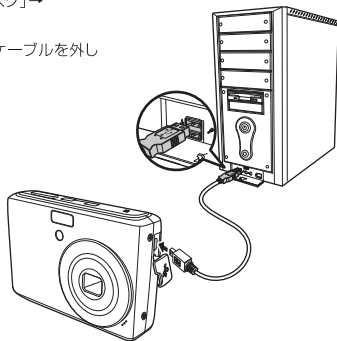
1. 付属のUSB-PC接続ケーブルのUSB端子(大きい方)をパソコンに接続し、もう片方のUSB端子(小さい方)をカメラに接続します。
2. パソコンとカメラの電源を入れます。
3. カメラの液晶モニタに「USBモード」が表示されます。
上または下ボタンを押し、「パソコン」を選択してSETボタンを押します。
初めてパソコンにDSC1200Zを接続するとパソコンのモニタに「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、しばらくすると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」と小さく表示されます。
4. 「接続中」表示後にしばらくして「PCモード」が表示され、カメラの液晶モニタが非表示になり、カメラの内蔵メモリとSDメモ리카ードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。
5. ファイルは「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DICAM」にあります。
6. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを外してください。

3.



◆カメラがパソコンに接続されると、カメラの液晶モニタの表示がオフになります。

◆お使いのパソコンのOSにより表示は異なります。





パソコンとの接続

📷 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク] からコピーしている際 (画像取り込み時) は、USB-PC 接続ケーブル、SD メモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリ、SD メモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク] 内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク] 内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク] をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

📷 ファイル名について

ファイル名は「DSCI」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。フォルダ番号が999またはファイル番号が9999を超える場合、「フォルダを作成することができません」という警告メッセージが表示されます。その場合はP.88「ファイル番号」をご覧くださいの上、ファイル番号リセットをしてください。



- パソコン上で、メモリーカード内のフォルダ名およびファイル名を変更しないでください。カメラでファイルを再生できない可能性があります。



付属アプリケーション

▶ 付属ソフトの説明

▶▶ Media Impression

静止画・動画の再生および簡単な編集をします。
使用方法是ソフトのヘルプをご覧ください。

▶▶ User Manual Guide

付属のCD-ROM内に6カ国語の取扱説明書が入っています。

▶▶ Adobe Acrobat Reader

付属のCD-ROMの取扱説明書を読むソフトです。



付属アプリケーション

■ 付属ソフトのインストール

▶ Media Impressionのインストール

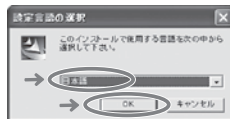
1. 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」の順にクリックし、CD-ROMドライブを右クリックして開きます。
「Set up」をダブルクリックしてください。
3. 「Install Media Impression」をクリックします。
4. 「設定言語の選択」が表示されます。
「日本語」等を選択し、「OK」をクリックします。
インストールの準備が始まります。
5. 「Media Impression 用のInstall Shield Wizard へようこそ」が表示されます。
「次へ」をクリックします。
6. 「使用許諾契約」が表示されます。
内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。

●次ページへ続く

3.



4.



5.



6.





付属アプリケーション

●P.102からの続き

7. 「インストール先の選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
8. 「プログラムフォルダの選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
インストールが開始されます。
9. 「関連付けられたファイル形式」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
10. 「Install Shield Wizard の完了」が表示されます。
「完了」をクリックします。
11. インストール画面に戻ります。
パソコンを再起動してソフトウェアを有効にします。



◆お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示が異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

7.



8.



9.



10.





付属アプリケーション

Adobe Acrobat Readerのインストール

お使いのパソコンにすでに「Adobe Reader」がインストールされている場合は、インストールは不要です。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
「Adobe Acrobat Reader」をクリックします。
3. Adobe社のホームページに接続しますが英文です。
「Get Adobe"Reader"」をクリックしてインストールします。
無料です。
日本語のホームページは
<http://www.adobe.com/jp/>をご覧ください。
同様に「Get Adobe"Reader"」をクリックします。
英語版と同様に無料です。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

2.



◆ Adobe Readerのインストールには、インターネットに接続する環境が必要になります。



付属アプリケーション

2. 付属CD-ROM内の取扱説明書(User Manual Guide)

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. 「User Manual Guid」をクリックします。
初回のみ使用許諾契約書が表示されます。
内容をお読みになり同意する場合は、「同意する」をクリックします。
3. CD内の6ヶ国語の取扱説明書が表示されます。

DE : ドイツ語

ENG : 英語

ES : スペイン語

FR : フランス語

IT : イタリア語

SC : 簡体中国語

例えば、ENGをダブルクリックすると英語版の取扱説明書が表示されます。

2.



3.



- ◆出荷先(国・地域)により仕様等が異なります。従いまして取扱説明書の説明範囲内容の一部が日本版と異なります。あらかじめご了承ください。



トラブルシューティング

□ こんなときは

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の挿入方向は間違っていないですか？	電池の＋を確認し、正しい方向で挿入してください。(P.13 参照)
	電池残量は充分ですか？	新しい乾電池に交換または再充電してください。(P.13 参照)
電池またはカメラが熱を持っている	カメラの連続使用またはフラッシュによるもので、異常ではありません。	
電源を入れた直後、起動画面が一瞬光る。	電池の残量不足では？ マンガン乾電池を使用していないですか？	新しい乾電池に交換または再充電してください。(P.13 参照)
シャッターボタンを押しても写真が撮れない。	シャッターボタンが完全に押されていますか？	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	メモリアカードの残量は充分ですか？	新しいメモリアカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.72 参照)
	フラッシュが充電中では？	充電が終わるまで暫くお待ちください。
	メモリアカードがライトプロテクトされていますか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.16 参照)
写真が撮れない。	フラッシュが充電中では？	充電が終わるまで暫くお待ちください。
	メモリアカードの残量は充分ですか？	新しいメモリアカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.72 参照)
	メモリアカードは正しくフォーマットされていますか？	メモリアカードが壊れている可能性があります。新しいメモリアカードをご使用ください。
ピントが合わない。	レンズが汚れていませんか？	レンズペーパーや柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
	正しい撮影距離で撮影していますか？	正しい撮影距離で撮影してください。(P.36 参照)
ファイルが削除できない。	ファイルが保護されていますか？	保護解除してください。(P.74 参照)
	メモリアカードがライトプロテクトされていますか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.16 参照)
ファイルをダウンロードできない。	ハードディスクの空き容量は充分ですか？	ハードディスクの容量が充分かどうかご確認ください。



記録可能枚数／時間の目安

静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	内蔵メモリ			SDメモリーカード (2GB)		
	スーパーファイン	ファイン	標準	スーパーファイン	ファイン	標準
12 M	2 枚	5 枚	9 枚	234枚	543枚	908枚
3:2	4 枚	7 枚	10 枚	437枚	691枚	1014枚
8 M	5 枚	9 枚	14 枚	579枚	908枚	1352枚
5 M	9 枚	15 枚	22 枚	908枚	1415枚	2028枚
3 M	15 枚	23 枚	29 枚	1415枚	2173枚	2646枚
16:9	18 枚	26 枚	34 枚	1690枚	2434枚	3203枚
VGA	88 枚	102 枚	121 枚	7608枚	8695枚	10144枚

動画の記録可能時間

動画サイズ	内蔵メモリ	SD(2GB)
640 × 480	32 秒	34分
320 × 240	38 秒	60分



◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。
上記表は目安としてご参考下さい。

◆記録可能枚数・時間に達する前に、電池残量が無くなる場合があります。



仕様

製品仕様

イメージセンサ	1 / 2.3 型 CCD
総画素数	1239 万画素
有効画素数	1200 万画素
レンズ	f=6.2~18.6mm F3 / 5.6
35mm フィルム換算	37.5mm ~ 112.5mm 相当
ズーム	光学 : 3 倍、デジタル : 5 倍
撮影距離	標準 : 約 0.8m ~ ∞(W)、約 0.8m ~ ∞(T) マクロ : 約 5cm ~ 100cm (W)
液晶モニタ	2.7 型 TFT
内蔵メモリ	32MB
外部メモリ	SD メモリカード (32MB ~ 2GB) SDHC メモリカード (4GB~32GB)
ファイル形式	静止画 : JPEG 動画 : MJPEG(AVI) 音声 : WAV
静止画サイズ	12M、10M(3:2)、8M、5M、3M、2M(16:9)、VGA
動画サイズ	720×400(30fps)、640×480(30fps)、 320×240(30fps)

シャッタースピード	1/2000 秒 ~ 1 秒
ISO 感度	自動、ISO50、100、200、400、800、 1600、3200(3M、16:9 <2M>、VGA)、 6400(16:9 <2M>、VGA)
内蔵フラッシュ	モード : 自動、赤目軽減、強制発光、スローシンクロ、 発光禁止 有効範囲 : 約 0.8m ~ 2m(T)、0.8m ~ 1.2m(T)
露出補正	+2.0EV ~ -2.0EV (1/3EV ステップ)
電源	単 3 形アルカリ乾電池 (2 本)
入出力ポート	USB 1.1 / 2.0
DPOF プリント	対応
寸法(幅×高×奥行)	約 92×60.5×25mm
重量	約 115g(付属品、電池を除く)



必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows 2000(SP4) / XP(SP2) / Vista(32bit)
CPU	Intel Pentium 4 2.0GHz 以上
メモリ	512MB 以上
ビデオカード	64MB 以上
ドライブ	CD-ROM 必須
インターフェース	USB 1.1 / 2.0

動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。